

## 公共交通機関における「言葉の壁」をなくす 阪急電鉄の全駅で AI 通訳機「ポケットーク」を導入

ポケットーク株式会社(本社:東京都港区東新橋 1-5-2 汐留シティセンター33階 代表取締役社長:松田 憲幸)は、弊社の AI 通訳機「ポケットーク S」が、が阪急電鉄株式会社(本社:大阪府大阪市北区芝田一丁目 16 番 1 号 代表取締役社長:嶋田 泰夫)の運営する全 87 駅(天神橋筋六丁目を除く)に導入されることをお知らせします。



阪急電鉄

POCKETALK

阪急電鉄は、大阪梅田を中心に、神戸・宝塚・京都を結ぶ鉄道会社です。通勤・通学でご利用のお客様に加えて、沿線にはさまざまな観光スポットを有しており、年間の輸送人員は5億人以上にもなります。

この度、インバウンド旅客の増加を受けて、阪急電鉄の各駅で「言葉の壁」のないサービスを提供すべく、「ポケットーク」の利用が開始されます。全駅の改札口をはじめ、定期券発売所やお忘れ物センター等に、対面での多言語コミュニケーションを円滑にする「ポケットーク」を配備することで、お客様対応をサポートし、海外からお越しのお客様の日本での滞在を、より充実したものにさせていただくことを目指します。

ポケットーク株式会社は、「言葉の壁をなくす」をミッションに掲げ、相手の言葉を話せなくても互いに自国語のまま対話でき、深くわかり合える世界の実現を目指しています。今後もこうしたインバウンド需要の増加にともなう「観光における言葉の壁」に着目し、「ポケットーク」シリーズを世界中に広げてまいります。

### 【阪急電鉄株式会社について】

大阪梅田と、神戸・宝塚・京都を結ぶ阪急電鉄は、社会を支える鉄道インフラとして関西圏で鉄道ネットワークを形成し、安全・安心・快適に、利用しやすい鉄道サービスを提供しています。

<https://www.hankyu.co.jp/>

## 【 AI通訳機「ポケットーク」とは 】

「ポケットーク (POCKETALK)」は、互いの言葉を話せない人同士が自国語のままでも対話できるAI通訳機です。74言語を音声・テキストに翻訳し、11言語をテキストのみに翻訳できます。クラウド上の最新最適なエンジンとAIを使った翻訳精度の高さが特長で、長い文章も訳せます。Wi-Fiのない所でも世界130以上の国と地域(「ポケットーク S」: 141の国と地域、「ポケットーク W」: 139の国と地域)で、そのまま使えるモバイル通信機能を内蔵し「契約不要、通信料なし(2年間)」で、買ってすぐ使えます。

「ポケットーク」シリーズ(初代、「ポケットーク W」、「ポケットーク S」および「ポケットーク S Plus」を含む)の累計出荷台数(サンプル等除く)は、2017年12月の発売以来、2022年12月時点で100万台を突破しました。

詳細 URL: <https://pocketalk.jp/>



「POCKETALK(ポケットーク) S」

### コピーライト表記について

■製品の画面掲載などのコピーライト表記は、下記の通りお願いいたします。

©POCKETALK CORPORATION

### お客様お問い合わせ先

■ソースネクスト・カスタマーセンター

■ご購入前相談窓口 : <https://www.sourcenext.com/support/form/InquiryForm0218>

### 本製品に関する報道関係者のお問い合わせ先

■担当 : ポケットーク株式会社 広報

■連絡先 : 「ポケットーク」専用 報道関係者 URL <https://pocketalk.jp/media/>

TEL 050-5533-4605 FAX 03-6254-5236 MAIL [pr@pocketalk.com](mailto:pr@pocketalk.com)